

実施状況等報告書

令和4年6月28日

三重県知事 一見勝之 様

住所 : 松阪市飯南町粥見5725-3
商号又は名称 : 松阪飯南森林組合
代表者氏名 : 代表理事組合長 上田 和久 印

「経営管理実施権の設定を受けることを希望する民間事業者の公募・公表要領」第10の規定に基づき、実施状況等を報告します。

【公表内容の変更の有無】 (有り) ・ 無し ※どちらかを囲んでください

1. 基本情報 (※変更がある場合に記入してください)

Table with 7 columns: 商号又は名称, 代表者氏名, 主たる事務所の所在地, 電話及びFAX番号, E-mail, ホームページ等URL, 認定事業主

Table with 5 columns: 組織形態 (会社, 協同組合等, 森林組合, 個人事業主, その他)

Table with 1 column: 設立年月日 (平成 13 年 4 月 2 日 設立)

Table with 4 columns: 事業の種類 (造林, 素材生産, 製材, その他)

報告の履歴

Table with 2 columns: 報告年月日 (1年目 R2.6.19, 2年目 R3.6.23, 3年目 R4.6.28, 4年目, 5年目)

※毎年度記載してください

Table with 1 column: 資本金(出資金) 千円 (199,870)

※公表内容に変更がある場合は、変更の内容及びその理由について記載してください。

Table with 2 columns: 年目 (R1年, R2年, R3年, 〇年, 〇年) and 変更の内容/理由

5. 事業量等（事業量、事業区域、生産量の増加又は生産性の向上等）

事業期間 【基準（申請直近の事業年度）：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日】
 【目標（5年後の事業年度）：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日】

年度	事業区分	素材生産									造林・保育			左記以外の林業の事業量 作業道開設(m)	事業区域
		主伐				間伐				材積計(m3)	植付(ha)	下刈り(ha)	その他 切捨間伐(ha)		
		指標	面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)	生産性(m3/人日)	面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)						
(基準)申請直近年	直営	0.80	407	140	2.9	113.00	6,183	1,237	5.0	6,590		4.70	16.63	0	三重 県 松阪 市
	請負	3.00	1,640	232	/	17.00	1,443	289	/	3,083	23.75	26.90	256.98	9,123	
	合計	3.80	2,047	372	/	130.00	7,626	1,526	/	9,673	23.75	31.60	273.61	9,123	
(目標)5年後	直営	4.00	1,500	214	7.0	120.00	7,000	1,000	7.0	8,500	5.00	5.00	30.00	0	三重 県 松阪 市
	請負	4.00	1,500	214	/	30.00	2,000	285	/	3,500	20.00	25.00	300.00	15,000	
	合計	8.00	3,000	428	/	150.00	9,000	1,285	/	12,000	25.00	30.00	330.00	15,000	
1年目(R1年)	直営	4.50	1,900	256	7.4	77.00	3,990	1,050	3.8	5,890	0.00	9.81	17.13	0	三重 県 松阪 市
	請負	0.00	0	0	/	33.00	1,410	312	/	1,410	15.47	22.36	289.98	9,868	
	合計	4.50	1,900	256	/	110.00	5,400	1,362	/	7,300	15.47	32.17	307.11	9,868	
	増減率	/	/	/	155%	/	/	/	-24%	-25%	/	/	/	/	
2年目(R2年)	直営	4.00	1,298	205	6.3	59.00	3,720	795	4.7	5,018			49.24		三重 県 松阪 市
	請負				/	37.00	1,577	325	/	1,577	23.28	30.87	530.60	6,630	
	合計	4.00	1,298	205	/	96.00	5,297	1,120	/	6,595	23.28	30.87	579.84	6,630	
	増減率	/	/	/	118%	/	/	/	-6%	-32%	/	/	/	/	
年度	事業区分	素材生産									造林・保育			左記以外の林業の事業量 () ()	事業区域
		主伐				間伐				材積計(m3)	植付(ha)	下刈り(ha)	その他 () ()		
		指標	面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)	生産性(m3/人日)	面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)						
3年目(R3年)	直営	1.20	622	107	5.8	55.00	3,500	700	5.0	4,122		4.39	18.52		三重 県 松阪 市
	請負				/	31.08	1,666	400	/	1,666	4.11	26.32	368.20	8,106	
	合計	1.20	622	107	/	86.08	5,166	1,100	/	5,788	4.11	30.71	386.72	8,106	
	増減率	/	/	/	100%	/	/	/	0%	-40%	/	/	/	/	
4年目(〇年)	直営				/				/						三重 県 松阪 市(町)
	請負				/				/						
	合計				/				/						
	増減率	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5年目(〇年)	直営				/				/						三重 県 松阪 市(町)
	請負				/				/						
	合計				/				/						
	増減率	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
目標達成率															

※増減率は報告年度における基準年度に対する増減率 ※生産性は材積(m3)÷雇用量(人)の値

	申請時	1年目(R1年)	2年目(R2年)	3年目(R3年)	4年目(〇年)	5年目(〇年)
素材生産の請負がある場合、主な請負業者名を記載	鳥羽山林業	堀口木材合同会社	堀口木材合同会社	堀口木材合同会社		
造林の請負がある場合、主な請負業者名を記載	滋賀中央森林組合	滋賀中央森林組合	滋賀中央森林組合	滋賀中央森林組合		

6. 生産管理又は流通合理化等

	①適切な生産管理			②原木の安定供給・流通合理化等			
	作業日報の作成・分析による進捗管理や工程の見直し	作業システムの改善	その他（ ）	製材工場等需要者との直接的な取引	とりまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷	森林所有者や工務店等との連携	その他（ ）
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる		
1年目（R1年）	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる		
2年目（R2年）	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる		
3年目（R3年）	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる		
4年目（○年）							
5年目（○年）							

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	伐採と造林の一貫作業システムの導入	コンテナ苗等の使用	低密度植栽	下刈りの省略	その他
申請時	1年以内に取り組む予定	2年後に取り組む意向	取り組んでいる		
1年目（R1年）	一年後に取り組む意向	未着手	取り組んでいる		
2年目（R2年）	未着手	未着手	取り組んでいる		
3年目（R3年）	未着手	未着手	取り組んでいる		
4年目（○年）					
5年目（○年）					

8. 主伐後の再造林の確保

	主伐及び主伐後の再造林を、直営施業又は他者への請負により実施する体制	主伐及び主伐後の再造林を、連携する他の林業経営体と一体的に実施する体制	連携する相手等の名称	自己所有森林における主伐後の適切な更新の実施	他者所有森林での主伐にあつては、森林所有者等に対する事前の適切な更新の働きかけ	独自の行動規範等の策定・遵守	所属団体や県・市町等が策定した行動規範等の遵守
申請時	有している				取り組んでいる	1年以内に策定等する予定	策定等している
1年目（R1年）	有している				取り組んでいる	策定等している	策定等している
2年目（R2年）	有している				取り組んでいる	策定等している	策定等している
3年目（R3年）	有している				取り組んでいる	策定等している	策定等している
4年目（○年）							
5年目（○年）							

9. 伐採・造林に関する行動規範の策定等

10. 雇用管理の改善及び労働安全対策

	①雇用管理の改善				②労働安全対策等		
	現場作業員の常用化	現場作業職員への月給制の導入	計画的な研修実施などの教育訓練の充実	社会保険・退職金共済等への加入等、	その他（ ）	現場作業職員等への安全衛生教育の実施	労働保険への加入（一人親方の特別加入を含む）
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
1年目（R1年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
2年目（R2年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
3年目（R3年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
4年目（○年）							
5年目（○年）							

	②労働安全対策等						
	リスクアセスメント	防護具等の着用の徹底	作業現場の安全巡回	労働安全コンサルタント等専門家による安全診断・指導	その他（ ）	死亡労働災害の発生件数	現場作業職員の休業4日以上を負傷労働災害発生件数
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる			
1年目 (R1年)	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	2
2年目 (R2年)	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	3
3年目 (R3年)	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	1
4年目 (○年)							
5年目 (○年)							

11. 環境への配慮

12. 人材の育成

	環境に配慮した取組	左記の具体的な取組内容	計画的な技術者の育成等に対する取組	左記の具体的な取組内容
申請時	取り組んでいる	・溪流の保全と、流木となるのを防止するため、伐倒した木を、溪流部に残さないこととしています。 ・人家裏の山林、下流域で谷水を生活用水に使用している山林、国道・県道沿いの山林には、環境保全のため作業道を開設しないこととしています	取り組んでいる	・緑の雇用事業を活用した職員の育成 ・みえ森林・林業アカデミーの受講 ・林業技士養成研修等各種研修の受講
1年目 (R1年)	取り組んでいる	申請時の取組内容を継続して実行しています	取り組んでいる	・みえ森林・林業アカデミーについては、マネージャーコースを2名受講し修了しました。 ・「緑の雇用」事業では、フォレストワーカー3年目研修を1名受講し、修了しました。現在登録申請手続き中です。
2年目 (R2年)	取り組んでいる	申請時の取組内容を継続して実行しています	取り組んでいる	・「緑の雇用」事業では、フォレストワーカー1年目研修を2名受講し、修了しました。
3年目 (R3年)	取り組んでいる	申請時の取組内容を継続して実行しています	取り組んでいる	・「緑の雇用」事業では、フォレストワーカー2年目研修を1名受講し、修了しました。 ・新規採用者が、「伐木等の業務に係る特別教育」と「刈払機取扱作業安全衛生教育」を受講し、修了しました。
4年目 (○年)				
5年目 (○年)				

13. 常勤役員の設置

申請時	設置している
1年目 (R1年)	設置している
2年目 (R2年)	設置している
3年目 (R3年)	設置している
4年目 (○年)	
5年目 (○年)	

14. その他、地域への貢献、表彰実績に関する情報

申請時	設置している	<ul style="list-style-type: none"> 管内の間伐により発生した林地残材を、自伐林家から木質バイオマス発電用として買い取る、「森林活（もりかつ）プロジェクト」を実施しています。 企業が、地域住民やボランティアと実施する森林整備について、準備作業やイベントの運営に積極的に協力しています。 地域の中学・高校の職場体験学習を受け入れています。
1年目 (R1年)	設置している	<ul style="list-style-type: none"> 「森林活（もりかつ）プロジェクト」について、管内より1,401tの出荷がありました。 企業が行う森林整備について、イオン環境財団による広葉樹植栽など準備作業やイベントの運営に積極的に協力しています。 職場体験学習については、県立飯南高校、市立飯南中学校、市立飯南中学校の生徒を受け入れ林業体験や施設見学を行いました。
2年目 (R2年)	設置している	<ul style="list-style-type: none"> 「森林活（もりかつ）プロジェクト」について、管内より1,221tの出荷がありました。 職場体験学習については、県立飯南高校の生徒を受け入れ林業体験を行いました。
3年目 (R3年)	設置している	<ul style="list-style-type: none"> 「森林活（もりかつ）プロジェクト」について、管内より830tの出荷がありました。 職場体験学習については、市立飯南中学校の生徒を受け入れ林業体験を行いました。 市立香肌小学校・市立宮前小学校より依頼を受けて、5・6年生を対象とした、間伐体験の指導を行いました。
4年目 (○年)		
5年目 (○年)		

15. それぞれの取り組みにあたっての課題、今後の対応方針等について記載してください。

1年目 (R1年)	<ul style="list-style-type: none"> 間伐における生産性の低下は、技術や装備の問題ではなく、対象地の蓄積が管内の平均的な林地に比べて乏しかったため、面積に対して搬出材積が少なかったことが要因と考えられます。 経験の浅い若手作業員を、日常業務の中で、労働災害を防止しながら、育成していくことがますます重要になってきます。具体的な方法として、令和元年度に採用した作業員については、フォレストリーダー又はフォレストマネージャーと同じ作業班に編入し指導しています。作業員は、作業補助から始めて、安全に作業する方法を学び経験を積んでいます。
2年目 (R2年)	<ul style="list-style-type: none"> 素材生産の減少について主な要因は、補助金が減少したため、ライフライン事業など他の事業に取り組んだことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、材価が下落したことや、直送先の製材工場から受け入れ制限がかかったことによるものです。 コンテナ苗等の使用が未着手の要因として、主伐の現地在造林との一貫作業でなかったため、着手に至りませんでした。
3年目 (R3年)	<ul style="list-style-type: none"> 主伐の減少について主な要因は、再造林の費用負担が大きくそれを補うだけの材価が見込めないため、提案しても成約に至らなかったことによるものです。今年度については、組合員への周知を進めて、R3年度からの増加を見込んでいます 「コンテナ苗等の使用」と「伐採と造林の一貫作業システムの導入」が未着手の要因として、主伐を行う職員が、伐採搬出に特化しているため、防護柵設置から植林に至る造林作業に時間を割くことができないことによるものです。
4年目 (○年)	
5年目 (○年)	